

ニーズ調査からワークショップを経て見えてきたこと

ニーズ調査を実施後、ワークショップを行い、居場所（サロン）活動を展開。住民の声を聞き、サロンという形で声を反映させると同時に、サロンで、困りごとを相談できる環境整備を進めている。

ニーズ調査からワークショップを経て 見えてきたこと

上対馬町・上県町の取り組み

【ニーズ調査】

★調査期間：平成30年6月～8月までの3か月

★調査対象：地域にお住いの75歳以上の方
・上対馬 ⇒817名・地区21地区
・上県 ⇒652名・地区28地区

★調査方法：1件1件訪問、聞き取り調査

○区長さん、民生委員さんへの地区訪問の連絡

○訪問時民生委員さんの訪問同行協力あり

○不在先は1件/5回訪問（日にち、時間帯を考えながら訪問した）

【調査集計】

○困りごと・居場所・生活支援等についての意見

交通の便が悪い
(買い物・病院) 人と集まる場所がない

みんなと話す場所必要

困りごとを相談できる
場所がほしい

ちょっとしたことが
頼みづらい

困りごとはないですか？

(調査内容)

- ①基本情報 ②通院・服薬 ③買物状況
- ④交流状況 ⑤暮らし・生活 ⑥訪問系生活支援
- ⑦居場所 ⑧その他



【ワークショップ】

★目的：ニーズ調査の結果を住民の方へお知らせする。

★対象：①区長・民生委員 ②地域住民の方

★方法：チラシの地区配布や地区内放送にて周知した。

ワークショップの意見から

- ・地域に集まる場所がほしい
- ・楽しみがほしい

【サロン活動】

サロン活動を通して、地域助け合い活動へ

上対馬町

- ・芦見地区（でこぼこ学園）参加者12名（66歳～81歳）
いつも笑いの絶えない場所である。
- ・舟志地区参加者9名（最高年齢90歳参加）
- ・小鹿地区参加者9名 調理・会食・レクリエーション

上県町

- ・仁田ノ内地区（コスモス会）参加者8名：民生委員参加あり
- ・御園地区（楽しもう会）参加者10名：食改さんが中心に献立を決め、家にあるものを持ち寄り調理をし、会食後レクリエーションを楽しむ。（男性の参加あり）
- ・犬ヶ浦地区参加者6名：始まったばかりです。



これからの取り組み

ワークショップから数か所のサロンができました。

サロンは、生活支援・助け合い活動の足掛かりです。まずは、自然と集まれる居場所（環境）づくりから、困りごとが言える環境・基盤を整備し、そこで、解決できること、特に、生活支援へとつながる輪（和）が広がることを願いながら、取り組めます。

